

戦評用紙

大会名	平成26年度山形県男女総合バスケットボール選手権大会
-----	----------------------------

日時	2014年10月5日 13:30 ~	区分	山形県バスケットボール協会
----	--------------------	----	---------------

チームA				チームB
Yamagata kubera				吹浦クラブ
86	26	1Q	17	82
	20	2Q	16	
	14	3Q	29	
	26	4Q	20	
		延長		

【戦評】

金のユニフォームYamagata kuberaは#9・19・22・33・55、白のユニフォーム吹浦クラブは#1・8・32・77・99がスターティングメンバー。両者ハーフコートマンツーマンディフェスでスタートする。白は#32、#1、#99のシュート、対する金は#19、#55、#33のシュートで得点を重ねていく。しかし、金がフリースローや#9の3連続得点などで26-17とし、金が9点リードして第1ピリオドが終了する。

第2ピリオド、両チームともここまでと同様のディフェンス。金#9の連続得点、#33のシュートなどで差を開きにかかるが、白#1がドライブやフリースローなどで食い下がる。その後、金は#19を中心としたインサイドで攻撃を組み立てる。しかし、白も激しいディフェンスでインサイドからの得点を許さない。両者の厳しいディフェンスの中、なかなか得点が決まらない。ようやく金#9が得点するも、白#1の速攻が決まる。残り4分で金がタイムアウトを取る。その後、金は#9、#33が得点を決め、対する白はドライブやフリースローから得点を決め、前半46-33で金が13点リードして終わる。

第3ピリオド、両チームともここまでと同様のディフェンス。開始から白#32、#1の得点で残り5分で4点まで差を詰めたところで、金がタイムアウト。タイムアウト後、白は#1、#99が得点をしていき残り1分で白#15の得点で逆転をする。すかさず白#22の3Pシュートで再逆転するが、ゲームは一転二転しゲーム終了間際白#1が放った3Pシュートが決まり、62-60で白が2点リードして終わる。

第4ピリオド、両チームともここまでと同様のディフェンス。開始から4分間シーソーゲームが続くが、残り6分、金#33の連続3Pシュート、#55の3Pシュートが決まり、金が8点リードしたところで白がたまたまタイムアウト。白は、ディフェンスをオールコートマンツーマンディフェスに変え、オフェンスも速いテンポで勝負を賭けるが、金#33の3Pシュートによる得点が止まらず、残り1分84-72の12点差になったところで、白タイムアウト。タイムアウト後、白#32のシュート、#99の3Pシュートで差を縮める。白は、逆転に賭けファールゲームに持ち込むが、86-82の4点差となったところでタイムアップ。金のYamagata kuberaが勝利した。

戦評者

佐藤 琢磨